

平成27年度放射線安全取扱部会年次大会 (第56回放射線管理研修会)のお知らせ(6)

平成27年度放射線安全取扱部会年次大会実行委員会

平成27年度放射線安全取扱部会年次大会は中部支部が中心となって、北陸の金沢市で開催いたします。今回の年次大会は「放射能・放射線の情報を正しく発信するには」というテーマで、放射能・放射線の生命科学や医学利用の有用性について発信できればと思っています。また、福島第一原子力発電所事故以来、福島県から遠く離れた所でも、放射能・放射線に対する不安の声が聞かれ、放射線取扱主任者の方々も一般の人たちに放射能・放射線のことを説明する機会が多くあったかと思っています。そこで、情報を正しく伝え、理解してもらうことの難しさを感じたのではないのでしょうか。今回はメディアを通じた情報の発信及び情報の読み取り方についても学ぶ機会が得られればと考えております。さらに、今回のテーマとは違いますが、金沢市の文化の発展や観光都市を目指した経緯について、長年尽力された前金沢市長に話をさせていただく機会を設けました。是非、この機会に金沢市を深く知ってもらい、その上で金沢観光をしていただきたいと考えております。最後に、年次大会の全体のプログラムやポスター発表の演題も決まりましたので、お知らせします。

○開催日：平成27年11月26日(木)、27日(金)

○会場：金沢市文化ホール

金沢市高岡町15番1号

☎076-223-1221(代)

(JR金沢駅よりバスで約15分)

○テーマ：放射能・放射線の情報を正しく発信するには

今年度より事前参加登録をホームページ(<http://www.jrias.or.jp>)から受付しています。申込についての詳細はホームページ(<http://www.jrias.or.jp>)でご確認ください。

	事前登録	当日登録
年次大会参加費	6,000円	7,000円
交流会参加費	5,000円	6,000円

○会場情報：

大ホールを、部会総会、特別講演、シンポジウムを開催するメイン会場とし、ポスター発表はギャラリー、機器展示は大ホールホワイエで行います。相談コーナーは大ホールホワイエに設置します。参加受付は大ホールホワイエ入口付近に設置します。また、クロークは大ホールホワイエに設置しますのでご利用ください。交流会は文化ホールの向かいにある金沢ニューグランドホテルにて開催します。

プログラムのハイライト

【1日目】

特別講演Ⅰ「放射性同位元素等の規制に係る最近の動向」(11月26日 11:00~12:00)

島根義幸氏(原子力規制庁長官官房放射線防護グループ放射線対策・保障措置課放射線

主任者 コーナー

規制室室長)

国の行政は、均霑化という言葉が好きで、原子力規制委員会でも、同様に放射線規制室と原子力規制室の均霑化を図っており、人的交流・入れ替えが進んでいるとのこと。その結果、我々が関係する放射線取扱施設に対する規制が強化される懸念もあります。また、最近、放射線規制室では、RI利用の減少に伴う大学内における放射線施設の地位や、放射線安全管理能力の低下を心配しているように思われます。それを踏まえて、放射線規制室から、放射線施設の管理者への要望もあろうかと思えます。その辺のことを、お話いただければと考えております。

特別講演Ⅱ「歴史と文化のまちづくり」(一般公開)(11月26日 16:30~17:30)

山出 保氏(前 金沢市長, 石川県中小企業団体中央会会長)

山出先生は市長時代に、金沢21世紀美術館の設立、東西の茶屋街の復興、旧町名の復活、工芸工房、料理職人塾の開設など、歴史ある文化の薫り高い観光都市としての金沢市の礎を築き、全てが現在の金沢市の観光の目玉となっています。会員の皆様には、金沢市の文化の魅力について是非知っていただきたいと考えております。

シンポジウムⅠ「核医学による最新診断および治療法」(一般公開)(11月26日 14:30~16:20)

脳、心臓、がんの診断・治療法に関する最新の話について話していただきます。アルツハイマー病の診断法として、最近注目されているアミロイドイメージングとタウイメージングについて、がん治療法としては短寿命の α 線核種(^{223}Ra 等)を利用した最新治療法、また、心臓については、最新の画像診断装置による心疾患の診断等について講演していただきます。

①「アルツハイマー病の最新診断法」

岡村信行氏(東北大学)

②「心臓疾患の最新診断法」

中嶋憲一氏(金沢大学)

③「核医学における最新がん治療法」

絹谷清剛氏(金沢大学)

【2日目】

特別講演Ⅲ「小動物PET/SPECT-CT装置を用いた*in vivo*動物研究の現状と将来性」(11月27日 11:10~12:00)

間賀田泰寛氏(浜松医科大学メディカルフォトンクス研究センター)

放射線施設の利用の増加に繋がる小動物の*in vivo*動態イメージングが撮像できる装置として、最近注目されている小動物用PET/CT装置やSPECT/CT装置を利用した研究について紹介していただきます。これは、遺伝子改変マウスを含む様々な病態モデル動物の異常タンパクや代謝異常を*in vivo*動態イメージングシグナルとして、その挙動や変化を視覚的に捉えることができるもので、今後の疾病原因探求や診断・治療薬開発に大変有効な手段となり得ます。

シンポジウムⅡ「メディア・リテラシーを考える」(11月27日 9:30~11:00)

放射能・放射線に関する情報をメディアに提供する側と、それらの情報を社会に伝えるメディアの相互理解を進め、情報を客観的に正しく伝える方法について検討し、いかにメディアを正しく活用できるか考えていきたいと思えます。

①「はじめに—シンポジウムの狙い」

松田尚樹氏(長崎大学)

②「放射線メディア・リテラシー」

矢鋪祐司氏(日本たばこ産業(株))

③「メディア側から見たメディア・リテラシー」

小島正美氏(毎日新聞社)

④「オーディエンスとしてのメディア・リテラシー」

森本洋介氏（弘前大学）

シンポジウムⅢ「放射線施設改修工事および廃止における注意点」(11月27日 13:00～14:40)

放射線施設の大規模改修工事や放射線発生装置施設の廃止に伴う書類手続き上の注意点並びに、実際の工事で起こる問題点（予算不足、設計と実際との相違等）について、情報や経験を話していただきます。改修工事または施設の廃止を行う予定の会員の方々の参考になればと考えています。

①「金沢大学学際科学実験センターの改修工事」
柴 和弘氏（金沢大学）

②「北海道大学アイソトープ総合センターの増築・改修工事」

野矢洋一氏（北海道大学）

③「九州大学のサイクロトロン施設廃止」

遠藤正志氏（(株)千代田テクノル）

④「(一財)先端医学薬学研究センターの廃止」
宮崎吉春氏（(一財)先端医学薬学研究センター）

ポスター発表（ギャラリー）

ポスター発表は、皆様が直接交流できる場です。多くの方々にご来場いただき、活発な討論や情報交換をしていただけたらと思います。

★ポスター掲示時間

11月26日 11:00～17:00

（翌日 12:30 まで掲示）

★ポスター発表時間

奇数番号ポスター：

11月26日 13:30～14:00

偶数番号ポスター

11月26日 14:00～14:30

機器展示（大ホールホワイトエ）

11月26日 9:00～17:30

11月27日 9:00～14:00

放射線関連製品の各メーカーからの展示があります。時間の許す限りお気軽にゆっくりご覧ください。

相談コーナー（大ホールホワイトエ）

11月26日 12:00～13:30

日頃の放射線管理業務での疑問や困りごとなどについて、相談をお受けします。相談員には法令検討専門委員会や各支部のベテランの方にお問い合わせしております。

交流会（金沢ニューグランドホテル）

11月26日 18:00～20:00

金沢市文化ホールの向かいにある金沢ニューグランドホテルで開催します。皆様の交流を深める絶好の機会です。多くの方の参加をお待ちしております。

【連絡先】

○放射線安全取扱部会事務局

日本アイソトープ協会学術・出版課

☎113-8941 東京都文京区本駒込 2-28-45

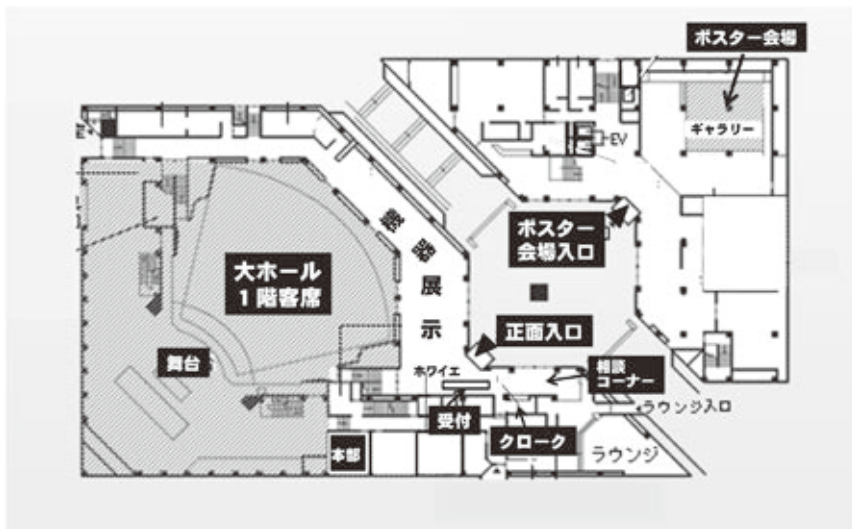
☎03-5395-8081 FAX03-5395-8053

E-mail gakujuitsu@jrias.or.jp

主任者 コーナー

会場レイアウト

1階平面図



会場へのアクセス



交通機関

○JR 金沢駅より

タクシー約 10 分、バス約 15 分

〈バスのご案内〉

金沢駅前（東口バスターミナル）

3 番・8～11 番のりば「南町・尾山神社」

下車 徒歩約 3 分

※バスに関する詳細については「北鉄バステレホンサービスセンター」☎076-237-5115にてご確認願います。

○小松空港より

空港連絡バス 約 60 分

※金沢駅直通バスは香林坊に停車しませんのでご注意ください。

「香林坊」下車 徒歩約 5 分

平成 27 年度放射線安全取扱部会年次大会（第 56 回放射線管理研修会）

期 日：平成 27 年 11 月 26 日（木） 10:00～27 日（金） 15:20 まで

会 場：金沢市文化ホール（☎ 920-0864 金沢市高岡町 15 番 1 号 ☎076-223-1221（代））
（JR 金沢駅よりバス 15 分）

交流会：金沢ニューグランドホテル 4 階 金扇（金沢市文化ホール向かい 徒歩 1 分）

年次大会プログラム

○ 1 日目 11 月 26 日（木曜日）

時 間	大ホール	大ホールホワイエ
9:00～	参加受付（大ホールホワイエ入口）	クロック
10:00～10:40	大会実行委員長挨拶 部会総会 部会長挨拶 支部活動報告及び本部専門委員会報告，質疑・討論	9:00～18:00 機器展示
10:40～11:00	平成 27 年度功労表彰 受賞式 （および若手表彰（平成 28 年度以降）創設について）	9:00～17:30
11:00～12:00	特別講演Ⅰ「放射性同位元素等の規制に係る最近の動向」 島根義幸氏（原子力規制庁長官官房放射線防護グループ 放射線対策・保障措置課放射線規制室室長） 座長：矢永誠人氏（静岡大学）	書籍コーナー 10:00～16:00 相談コーナー 12:00～13:30
12:00～13:30	昼食休憩（相談コーナー）	
13:30～14:30	ポスター発表	ギャラリー
(13:30～14:00)	奇数番号ポスター説明	
(14:00～14:30)	偶数番号ポスター説明	
14:30～16:20	シンポジウムⅠ「核医学による最新診断および治療法」（一般公開） ①「アルツハイマー病の最新診断法」 岡村信行氏（東北大学） ②「心臓疾患の最新診断法」 中嶋憲一氏（金沢大学） ③「核医学における最新がん治療法」 絹谷清剛氏（金沢大学） ④総合討論 座長：川井恵一氏（金沢大学）	ポスター掲示 11:00～17:00 発表者は 11:00 までに貼り 終え、翌日 12:30 まで掲示
16:20～16:30	休 憩	
16:30～17:30	特別講演Ⅱ「歴史と文化のまちづくり」（一般公開） 山出 保氏（前 金沢市長，石川県中小企業団体中央会会長） 座長：柴 和弘氏（金沢大学）	
18:00～20:00	交流会（於 金沢ニューグランドホテル）	

主任者 コーナー

○ 2 日目 11 月 27 日 (金曜日)

時 間	大ホール	大ホールホワイエ
9:00～	参加受付 (大ホールホワイエ入口)	クローク
9:30～11:00	シンポジウムⅡ「メディア・リテラシーを考える」 ①「はじめに一シンポジウムの狙い」 松田尚樹氏 (長崎大学) ②「放射線メディア・リテラシー」 矢鋪祐司氏 (日本たばこ産業(株)) ③「メディア側から見たメディア・リテラシー」 小島正美氏 (毎日新聞社) ④「オーディエンスとしてのメディア・リテラシー」 森本洋介氏 (弘前大学) ⑤ 総合討論 座長: 松田尚樹氏 (長崎大学)	9:00～16:00 機器展示 9:00～14:00 書籍コーナー 10:00～14:00
11:00～11:10	休 憩	ギャラリー
11:10～12:00	特別講演Ⅲ「小動物 PET/SPECT-CT 装置を用いた <i>in vivo</i> 動物研究の 現状と将来性」 間賀田泰寛氏 (浜松医科大学) 座長: 北村陽二氏 (金沢大学)	ポスター掲示 9:00～12:30 ※13:00以降に貼ってある ポスターは実行委員会で 処分します。
12:00～13:00	昼食休憩	
13:00～14:40	シンポジウムⅢ「放射線施設改修工事および廃止における注意点」 ①「金沢大学学際科学実験センターの改修工事」 柴 和弘氏 (金沢大学) ②「北海道大学アイソトープ総合センターの増築・改修工事」 野矢洋一氏 (北海道大学) ③「九州大学のサイクロトロン施設廃止」 遠藤正志氏 ((株)千代田テクノル) ④「(一財)先端医学薬学研究センターの廃止」 宮崎吉春氏 ((一財)先端医学薬学研究センター) ⑤総合討論 座長: 柴 和弘氏 (金沢大学)	
14:40～14:45	休 憩	
14:45～15:00	中学・高校の教員を対象とした放射線教育研修会報告 ～1年間のまとめ～ 宮越順二氏 (京都大学/当部会部会長)	
15:00～15:20	大会のまとめ, 次回大会紹介, 閉会	

ポスター発表申込み一覧

分類	番号	表 題	氏名(所属)
施設管理・運用・リスク	A-1	ファイバースコープを用いた RI 排水管内部検査及び補修工事	永野利典, 佐藤進吾 (東京女子医科大学), 吉澤若葉, 高橋大輔 (ワカダイ・エンジニアリング), 山本多喜夫 (巧喜)
	A-2	公益社団法人日本アイトープ協会茅記念滝沢研究所の紹介	藤倉健二, 小笠原亘, 井上元 (日本アイトープ協会)
	A-3	有機廃液の発生しないベータ線測定-1	古田悦子, 岩崎紀子 (お茶の水女子大学), 横田繁昭 (東海大学), 加藤結花, 古澤孝良, 吉村共之 (日立アロカメディカル)
	A-4	有機廃液の発生しないベータ線測定-2	古田悦子, 岩崎紀子 (お茶の水女子大学), 加藤結花, 古澤孝良, 吉村共之 (日立アロカメディカル)
	A-5	大規模 RI 施設における被ばく記録写し交付方法の一提案	矢嶋一賀 (アステラスリサーチテクノロジー), 青木洋祐 (東京ニュークリア・サービス)
	A-6	USB 接続機能付線量計を用いた簡易型エアモニタの構築	廣田昌大 (信州大学), 杉本勇二, 森一幸 (インク), 水野裕元, 黒木智広 (富士電機)
	A-7	大学の人事の多様化による従事者管理の問題点	鈴木智和 (大阪大学)
	A-8	炭素含有量の多い試料の加熱回収法における分析法の改良	田澤浩, 安藤佳明, 松村一博 (日本環境調査研究所)
	A-9	進化する「全学放射線利用者管理システム Vr.6」の紹介	五十嵐敏美 (東京工業大学)
	A-10	医療機関における職業被ばくの管理状況とそれに基づく対策	田村恵美, 権文雅浩, 田村隆行, 中島健雄, 越智悠介, 隅田博臣, 永田靖 (広島大学病院)
	A-11	自己遮蔽型小型サイクロトロン解体事例	柳下俊行, 山谷義幸 (日本環境調査研究所), 大石晃嗣 (清水建設), 麻生智彦, 井原完有 (国立がん研究センター中央病院)
	A-12	湧き出し線源 (核燃料物質) 発見から許可の経験	丸藤俊之 (日本環境調査研究所)
	A-13	当院で経験した前立腺癌密封小線源療法で生じた脱落線源について	長野圭司 (関西電力病院)
	A-14	九州大学における新設放射線施設の紹介	杉原真司 (九州大学)
	A-15	スマ法における採取材として紙ワイパーを用いた際のふき取り効率の検討	阿部利明, 馬田敏幸 (産業医科大学)
	A-16	関係法令に基づく医療機関における放射線申請の概要	金川政史 (住重試験検査)
	A-17	東京大学アイトープ総合センター施設改修のご紹介	小坂尚樹, 桧垣正吾, 和田洋一郎 (東京大学)
教育訓練・改発活動	B-1	教科書における放射線・原子力記述の変遷	井上浩義, 母里彩子 (慶徳義塾大学), 羽田野仁喜 (九州大学)
	B-2	インスタントコーヒーを材料に製作した 10 種のコーヒブロック線源	河野孝央 (日本遮蔽技術)
	B-3	さくらサイエンスプランを活用した放射線安全教育の国際化	大矢恭久, 近田拓未, 宮澤俊義, 矢永誠人, 三重野哲 (静岡大学)
	B-4	課外学習プログラム・企業実習による放射線安全管理教育の実践報告	飯塚裕幸, 宮下由美, 小野啓 (埼玉医科大学)
	B-5	愛媛大学学術支援センター放射線教育支援室の取組み	岩崎智之 (愛媛大学)
	B-6	ラジオルミノグラフィを用いた β 線放出核種の簡易弁別分析法の構築	藤野秀樹 (兵庫医療大学)
	B-7	私が始めた外国人教育	中村嘉行 (名古屋大学)
分科会・委員会・支部分会・支部分会報告	C-1	教育訓練検討分科会の報告	小野俊朗 (岡山大学), 中西徹 (就実大学)
	C-2	分科会 PET 施設管理研究会の活動報告	佐々木将博 (先端医療センター)
	C-3	「放射線取扱施設における安全管理技術の継承」分科会の活動報告	放射線取扱施設における安全管理技術の継承分科会
	C-4	企画専門委員会の活動—平成 27 年度教育訓練講習会アンケート調査結果とその考察—	第 28 期放射線安全取扱部会企画専門委員会
	C-5	企画専門委員会の活動—消防機関における放射線教育研修についてのアンケート調査報告—	第 28 期放射線安全取扱部会企画専門委員会
	C-6	平成 28 年度放射線安全取扱部会年次大会	井上浩義 (放射線安全取扱部会関東支部長)
	C-7	近畿支部活動の紹介	小山由起子 (滋賀医科大学), 芳原新也 (近畿大学)
	C-8	九州支部活動—次世代主任者育成プロジェクト	杉原真司 (放射線安全取扱部会九州支部)
震災・地域貢献・環境放射能	D-1	滝沢研究所における環境放射能測定結果	土井幸一, 小笠原亘, 草間経二 (日本アイトープ協会)
	D-2	放射線災害に対する当院の取り組みについて	釜谷明, 大山泰, 小林篤, 谷貞和明, 林奈緒子, 森嶋敬行, 柴原卓彦, 村田達紀 (伊勢赤十字病院)
	D-3	液体シンチレーション装置を利用したプラスチックシンチレータ (PS) による ^{90}Sr 、 ^{90}Y 及び ^{137}Cs の簡易測定	横田繁昭, 前澤健, 磯部尚子, 吉田茂生 (東海大学), 古田悦子 (お茶の水女子大学), 上島良司 (プラケン)
	D-4	弘前大学における緊急放射線被ばく医療と教育への取組み	門前暁, 細川洋一郎, 真里谷靖, 中村敏也, 末次真司, 吉田光明, 山田正俊, 柏倉幾郎 (弘前大学)
	D-5	$\text{SrI}_2(\text{Eu})$ シンチレーション検出器による空間線量率の評価	山田隆志, 三浦正之 (アドフューテック), 津田修一, 吉澤道夫 (日本原子力研究開発機構)
	D-6	緩歩動物クマムシの放射線耐性に関する研究とひらめき・ときめきサイエンスでの中高生への放射線教育の取組み	宮澤俊義, 大矢恭久 (静岡大学)
	D-7	福島大学うつくしまふくしま未来支援センターの支援活動	河津賢澄 (福島大学)
	D-8	伊勢志摩地域の医療機関における一般撮影入射表面線量の調査および最適化	柴原卓彦 (伊勢赤十字病院)

掲示時間 11月26日 11:00~17:00, 11月27日 9:00~12:30
 発表時間 11月26日 13:30~14:30
 13:30~14:00 奇数番号ポスター説明, 14:00~14:30 偶数番号ポスター説明